

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所
資料配布

配布 日時	平成17年5月27日(金) 15時00分
----------	-------------------------

件名	洪水期に備え大滝ダムの貯水位を低下させます。(お知らせ)
----	-------------------------------------

概要	大滝ダムでは洪水期(6/16~10/15)に備え、貯水位を標高258mまで低下させます。
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ 神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ所属で資料が必要な方は「近畿建設記者クラブの杉岡(06-6942-1141内線2811)にお問い合わせください」
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 副所長 服部 龍雄 管理課長 齋藤 信彦 電話：07472-5-3013(代表)
------	--

洪水期(6/16～10/15)に備え 大滝ダム貯水位を低下させます！

大滝ダムでは、異常湧水に備え、昨年(2010)年10月29日より貯水位を標高271mまで上昇させ、約470万m³の緊急備蓄用水を確保してきました。

しかし、6月16日以降の洪水期は、吉野川(紀の川)の洪水に備えるため、貯水位を標高258mまで低下させます。

大滝ダムの貯水位を標高258mまで低下させることで、例えば、伊勢湾台風規模の豪雨に見舞われたとしても、経験水位内¹に洪水を貯留する事が可能となります。

また、洪水による貯水位上昇の白屋地区地すべり対策工事への影響を少しでも軽減することができます。

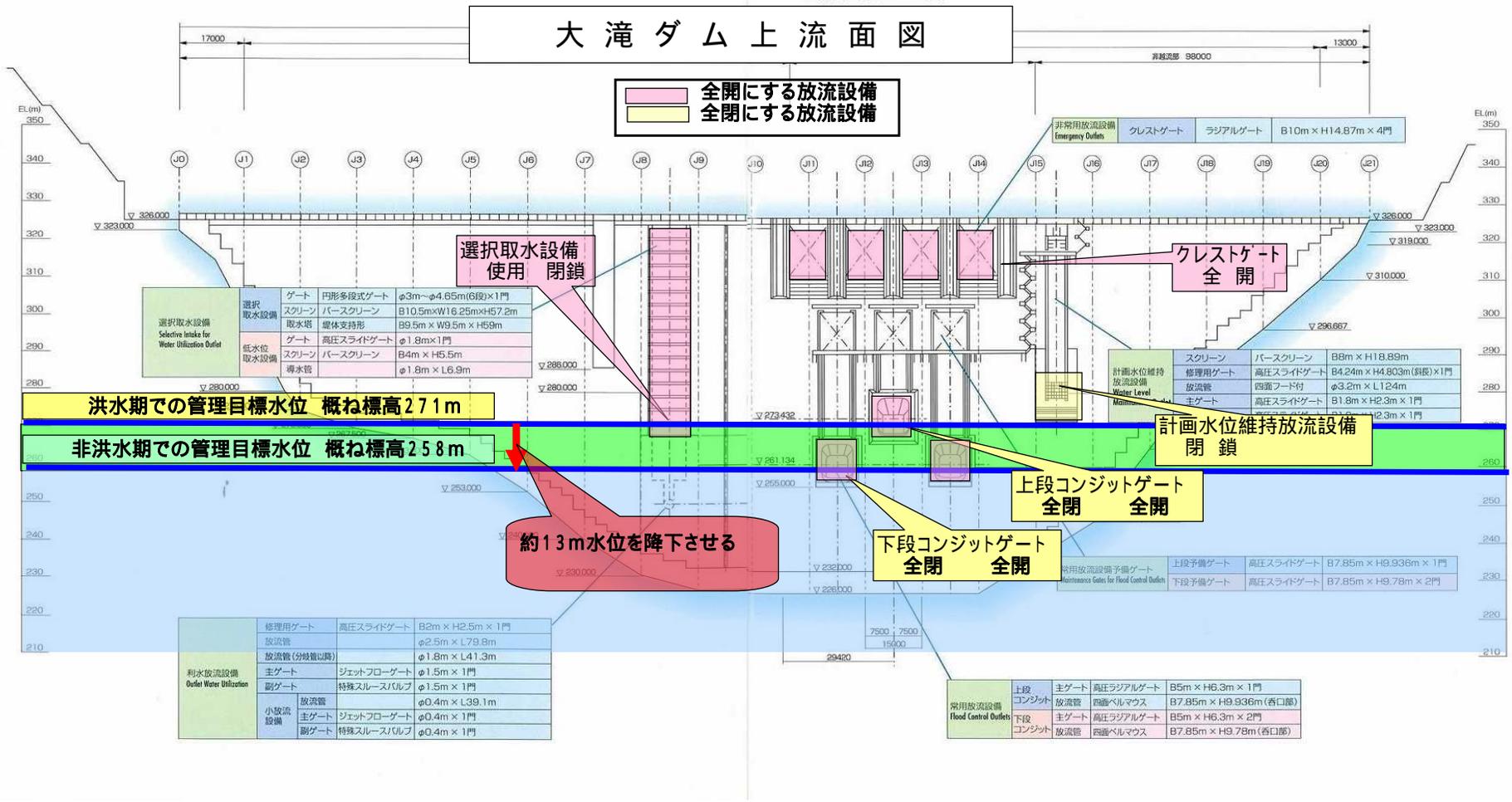
水位降下は本日(5月27日)14:00より本格的に開始しました。6月15日までには標高258mまで貯水位を降下させる予定です。

その後、洪水吐の放流ゲートを常に全開にし、ダムに流入する流水を自然に流すこととなります。

なお、10月16日以降は、吉野川(紀の川)が非洪水期になりますが、白屋地区の地すべり対策工事の進捗を考慮し、緊急備蓄用水を確保(水位上昇)する予定はしていません。

1 経験水位とは、平成15年度に試験的に水を貯めたときの最高水位であり、標高304.8mである。

大滝ダム上流面図



全開にする放流設備
全閉にする放流設備

洪水期での管理目標水位 概ね標高271m

非洪水期での管理目標水位 概ね標高258m

約13m水位を降下させる

計画水位維持放流設備
閉鎖

上段コンジットゲート
全開

下段コンジットゲート
全開

クレストゲート
全開

選択取水設備
使用 閉鎖

利水放流設備 Outlet Water Utilization		
修理用ゲート	高圧スライドゲート	B2m × H2.5m × 1門
放流管		φ2.5m × L79.8m
放流管 (分岐管以降)		φ1.8m × L41.3m
主ゲート	ジェットフローゲート	φ1.5m × 1門
副ゲート	特殊スルースバルブ	φ1.5m × 1門
小放流設備	放流管	φ0.4m × L39.1m
	主ゲート	ジェットフローゲート φ0.4m × 1門
	副ゲート	特殊スルースバルブ φ0.4m × 1門

常用放流設備 Flood Control Outlets			
上段	主ゲート	高圧ラジアルゲート	B5m × H6.3m × 1門
コンジット	放流管	西面ベルマウス	B7.85m × H9.936m (呑口部)
下段	主ゲート	高圧ラジアルゲート	B5m × H6.3m × 2門
	放流管	西面ベルマウス	B7.85m × H9.78m (呑口部)

計画水位維持放流設備 Water Level Maintenance		
スクリーン	バースクリーン	B8m × H18.89m
修理用ゲート	高圧スライドゲート	B4.24m × H4.803m (副扉) × 1門
放流管	西面フード付	φ3.2m × L12.4m
主ゲート	高圧スライドゲート	B1.8m × H2.3m × 1門
		φ2.3m × 1門

非常用放流設備 Emergency Outlets		
クレストゲート	ラジアルゲート	B10m × H14.87m × 4門

